

第25号

# 大志連区地域づくり協議会だより

発行日:平成31年1月1日 発行者:大志連区地域づくり協議会(会長:木村富雄 090-1832-9029)

<http://blog.goo.ne.jp/a1384chidukyo> 一宮市のHPにも掲載中

地域づくり協議会専用事務室:大志公民館(大江3-9-14)2F 料理実習室内 FAX:0586-24-5206

常駐予定(木村):毎週月曜日午後1時半~5時半、毎週木曜日午後5~8時 [138daishi.chiiki@gmail.com](mailto:138daishi.chiiki@gmail.com)



## 年頭のあいさつ



### 大志連区地域づくり協議会 会長 木村富雄



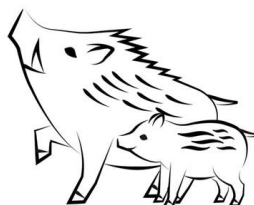
新年明けましておめでとうございます。皆さまには輝かしい新春をおむかえのことと心よりお慶び申し上げます。2回目の正月を迎える地域づくり協議会は、連区全団体参加による「大志連区防災訓練」と「団体間連携による地域活性化」を重点のテーマにおき活動してまいりました。今後は、防災については、水害や地震に強い大志連区を作るために、大志版避難所運営マニュアル作りを核に検討、訓練を重ね、3年かけ2020年度末には防災体制(組織、運営マニュアル等の整備)を完成させる計画です。また2021年には市から150万円程の予算が下り、防災装備等の拡充を図り、防災体制をより強固にする計画です。地域活性については、各団体をよく知ることから始めており、連携による強みを出そうとしております。いずれにしましても、従来の縦の組織に組織間の横の連携を強め、若者、女性にも積極参加していただき「安全、安心そして住み続けたいとおもえるまちづくり」を進めてまいります。昨年の10月21日の第2回防災訓練では、訓練参加者の平均年齢の若さが消防署の目にとまり、お褒めいただきました。新しい大志への一歩に、皆さまのますますのご協力、ご参加をお願いします。



### 大志連区町会長会 代表者(連区長) 佐藤潤



明けましておめでとうございます。新米2年目まだまだドタバタの連区長です。わからない事だらけの中、連区の仕事をしていただきながら、唯一わかった地域の繋がる必要性。地震、台風、大雨、さらには死者まで出した酷暑と、災害連発の平成30年。さらには待ったなしでドンドン進む高齢化。公的支援に対する不満はたくさん聞こえて来ますが、もうそんな時間はありません。団体、役職、職業、年齢、性別越えて大志連区の皆様がつながり、我が連区を、お互いに見守り助け合える体制づくりは、急務と感じています。平成31年、新元号はどうなるのかわかりませんが、アナログ、フェイストゥフェイス、昭和の良き部分への回帰も悪くないんじゃないかと思える今日この頃。大志の皆様、お顔を見ながらお話しをして、垣根なくつながっていきましょう。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



## 歴史の散歩道⑦『ここ大志が、一宮がうんだ詩人・佐藤一英を育てた!?』

♪「かしの並木の かしこさよ・・・」南部中学校校歌の歌詞です。作詞者は、一宮がうんだ詩人・佐藤一英です。一英は、1899（明治 32）年、母の実家がある中島郡祖父江町（現稲沢市）で生まれ、中島郡萩原町高松（現一宮市）で育ちました。早稲田大学で学び、詩人を志します。濃尾平野を「日本の文化の発祥の地」と捉え、当時親交のあった福士幸次郎は「濃尾平野は日本のメソポタミアであり、木曾・長良の両川はチグリス・ユウフラテスにあたる」と唱え、一英は後日 2 人が生活していた一宮市玉野善福寺に碑を建てました。一英の代表作「大和し美し（やまとしうるわし）」は、棟方志功によって版画として制作されました。一宮に戻った一英は、「櫛の木文化論」を展開し、萩原小・浅井北小・朝日東小・朝日西小・萩原中・南部中・葉栗中・尾西第一中・木曾川中・一宮商業高校・木曾川高校などの校歌を作詞しました。

佐藤一英は、明治 36 年 4 歳の時に中島郡一宮町に移り住み、39 年町立一宮男子尋常小学校（現大志小）に入学、3 年生までここで学びました。一英は、その頃のことを、南部中学校校歌制定時の講演で次のように述べています。「今（昭和 34 年）から 50 年前大志小学校で 3 年間学び、幼き日、地藏寺の境内や真清田神社の森一杉や松やかしの美しい森一で遊んだ私は、戦争が終り、…郷里に帰ってきました。戦火で灰燼（はいじん）に帰し、新しい姿に変わってしまった一宮ではありましたが、地藏寺のいちいかしだけは 50 年前そのまゝの姿で大空に聳（そび）えていました。あゝ、一宮はあるんだ！ふるさとはあるんだ！…あの地藏寺のいちいかしを見ることにより、いな、この南中の校庭のかし並木を見ることにより、真清田神社の美しい森をしのぶことができ、…どうか校歌とともにこのかしの並木を大切にしてください。…」（南中新聞昭和 34 年 11 月号／文責・新聞部）ご覧になりたい方は、「南部中学校ホームページ - 学校紹介 - 南中校歌」からどうぞ。

ここ「大志の地」が、一宮がうんだ郷土の詩人・佐藤一英を育てたのかもしれない。



【南部中学校のかし並木】

♪「かしの並木の かしこさよ」卒業記念として、かしが植樹されていました。校歌は、このかし並木と南部中学校で学ぶ南中生とをにかけている？



【地藏寺のイチイガシ】

郷土の詩人・佐藤一英はこの木に 1 篇の詩をよせています。「かの寺の門を埋めて／かし一樹そびえ立ち居り／愛しかる幼な日もまた／かかる影かしこき」

「一宮市博物館データ」より

♪「宮の南の 野に立ちし…」（宮は真清田神社か？）校歌は、樹齢 400 年と推定される市指定文化財イチイガシと「大志の地」で学ぶ南中生とをにかけている？

### < 1 月の予定 >

- 「老人クラブ：真清田神社新年賀詞会」1 / 7（月）9：30 真清田神社
- 「社協大志支会：微笑みさわやか体操」1 / 11・25（金）大志公民館
- 「児童館：新年お楽しみ会」1 / 12（土）10：00 大志児童館
- 「地域づくり協議会：部会員役員合同会議」1 / 15（火）19：00 大志公民館
- 「町会長会：県民交通安全街頭監視活動」1 / 18（金）7：45 交差点
- 「公民館：三世代ストラックアウト大会」1 / 20（日）9：00 大志小学校
- 「児童館・老人クラブ：ニュースポーツ」1 / 28（月）10：00 大志児童館

